



1013



イ14
A2709

大正十一年四月
隈侯爵邸寄贈



第一條 此ノ法律ニ於テ農會ト稱スルハ左ノ二種トス
一 町村農會

二 府縣農會

第二條 農會ハ會員共同一致シテ農業ノ改良發達ヲ企圖スルヲ以テ目的トス

第三條 町村農會ノ區域ハ町村ノ區域ニ依リ府縣農會ノ區域ハ府縣ノ區域ニ依ル但シ町村農會ニ

在テハ土地ノ情況ニ依リ此ノ區域ニ依ラサルコトヲ得此ノ場合ニ於テ其ノ區域ハ地方長官ノ認

可ヲ經テ之ヲ定ムヘシ

第四條 町村農會ノ區域内ニ於テ田畑又ハ牧場ヲ所有シ地租三圓以上ヲ納ムル者ハ該町村農會ノ
會員タルノ資格ヲ有ス

町村農會ノ區域内ニ於テ田畑又ハ牧場ヲ所有シ地租納額三圓ニ滿タサル者及田畑又ハ牧場ヲ所有セサルモ其ノ區域内ニ居住シテ農産又ハ畜産ノ業ヲ營ム者ニシテ入會ヲ希望スル者ハ會員タルコトヲ得但シ會議ニ於テ議決權ヲ有スルコトヲ得ス

第五條 府縣農會ハ町村農會ノ會長ヲ以テ會員トス

第六條 府縣農會ハ左ノ各項ニ該當スル者ヲ會員ト爲スコトヲ得但シ會議ニ於テ議決權ヲ有スルコトヲ得ス

一 農業ニ直接關係アル學術技藝ヲ修メタル者

二 農事ニ關シ經驗又ハ功勞アル者

第七條 町村農會ヲ設立セントスル者ハ第四條第一項ノ資格ヲ有スル者五分ノ四以上ノ同意ヲ得テ會則ヲ議定シ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ會則變更ノトキ亦同シ

第八條 町村農會設立シタルトキハ第四條第一項ノ資格ヲ有スル者ハ總テ入會スヘシ

第九條 府縣内ノ町村半數以上町村農會ヲ設立シタルトキハ其ノ各會長相會シテ府縣農會會則ヲ議定シ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ會則變更ノトキ亦同シ

第十條 農會ハ法人トシテ財産ヲ所有シ及訴訟上原告又ハ被告トナルコトヲ得

第十一條 農會ハ毎年一回經費ノ收入支出決算及貸借對照ヲ會員ニ公示シ且町村農會ニ在テハ地方長官、府縣農會ニ在テハ農商務大臣ニ報告スヘシ

第十二條 農會ハ農事ニ關シ主務官廳ノ諮問アルトキハ之ニ答申シ又其ノ命ニ依リ農事ノ實況及統計ヲ報告スヘシ

第十三條 農會ハ農事ニ關シ主務官廳ニ建議スルコトヲ得

第十四條 農會ノ經費ハ町村農會ニ在テハ會員、府縣農會ニ在テハ町村農會ノ負擔トス

第十五條 農會經費ノ徵收及支出方法ハ會則ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第十六條 町村農會會員ニシテ其ノ負擔ニ屬スル經費ヲ納メサル者アルトキハ其ノ地ノ收入役ニ

囑託シテ徴收スルコトヲ得

收入役ノ督促ヲ受クルモ尙ホ經費ヲ納メサル者ハ二圓以下ノ過料ニ處ス

過料ハ檢事ノ命令ニ依リ之ヲ徴收ス其ノ徴收ニ付テハ民事訴訟法第六編ノ規定ヲ準用ス但シ此ノ場合ニ於ケル檢事ノ命令ハ執行文ノ効力ヲ有ス

第十七條 農會ノ行爲ニシテ法律命令又ハ會則ニ違背シタルトキ又ハ公益ヲ害スルモノト認ムルトキハ地方長官之ヲ禁止スヘシ其ノ禁止ノ命ニ從ハサルトキハ農商務大臣ノ認可ヲ經テ農會ノ業務ヲ停止スルコトヲ得

附則

第十八條 此ノ法律ハ北海道及沖繩縣其ノ他町村制ヲ施行セサル島嶼ニ施行セス但シ農會ヲ設立セムトスル者アル場合ニ於テ農商務大臣其ノ必要ヲ認ムルトキハ此ノ法律ヲ準用スルコトヲ得

第十九條 土地ノ狀況ニ依リ市ニ於テ町村ニ準シ市農會ヲ設立セムトスルトキハ地方長官ハ農商

務大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ許可スルコトヲ得

第二十條 此ノ法律施行ニ關スル規則ハ農商務大臣之ヲ定ム

第二十一條 此ノ法律ハ明治三十一年一月一日ヨリ施行ス

農會法案理由書

我農業ノ状態ヲ觀察スルニ維新以來往々改良進歩ノ見ルヘキモノナキニアラスト雖モ多クハ撰種、施肥、耕耨等ノ方法ヲ單獨自營スルニ過キス而シテ土地整理、病虫撲滅等ノ如キ共同所營ヲ要スヘキ點ニ至リテハ未タ顯著ナル改良ノ發達ヲ見ス之レ農家自カラ進ンテ共同スルノ精神ニ乏シキニ職由セサルハナシ故ニ農家ヲシテ共同所營ナラシムルニ必要ナル機關ヲ創設スルハ目下ノ緊要ナリトス民間ニ於テモ茲ニ見ル所アリ既ニ農會ナルモノヲ組織シ此ノ機關ニ充テタルノ府縣尠カラスト雖モ其組織タル未タ鞏固ナルヲ得スシテ其目的ヲ貫徹スル能ハサルヲ以テ常ニ遺憾トスル所ナリ依テ政府ハ農會法ヲ制定シ農會ノ組織ヲ鞏固ナラシメ全國農業ノ發達ヲ速成ナラシメンコトヲ期ス之レ本案ヲ提スル所以ナリ

